

書き損じはがき等の寄贈を呼びかけ、子どもの貧困問題等に取り組む団体を支援

コープみらい「子ども・子育て支援基金」を設立

生活協同組合コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:新井 ちとせ、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)は、SDGs(持続可能な開発目標)が目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて、取り組みをより進めるための基盤づくりとして、2021年11月、新たに「子ども・子育て支援基金」を設立いたしました。

「子ども・子育て支援基金」は国内外で飢餓、貧困、格差などに苦しむ「取り残されている子ども、取り残される恐れがある子ども」の支援に取り組んでいる団体を支援(寄付)する取り組みです。財源は組合員のみなさまに寄贈いただいた書き損じ・未使用はがきや未使用切手等で、換金で得られた資金を活用します。支援団体の活動は、子どもの貧困、格差の克服、教育支援、いじめ対策、虐待防止などを対象とし、「子ども・子育て」の範囲は乳児(妊産婦含む)から子どもが成人し自立するまでの広い範囲といたします。

国内では、社会福祉法人中央共同募金会を通じて千葉県、埼玉県、東京都で活動する団体へ寄付いたします。また海外団体への寄付に関しては、特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド、認定特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21を通じて、「アジアの子ども・子育て支援」を行っている団体への支援(寄付)を行います。

■コープみらい「子ども・子育て支援基金」について

名称:「子ども・子育て支援基金」

内容:組合員のみなさまに、年賀はがき・郵便はがき(書き損じ/未使用)、未使用切手等を専用封筒による郵送で寄贈いただき、その換金で得られた資金を「子ども・子育て支援基金」で活用いたします。

支援先:公益性を持ちかつ使途が明確な団体で、寄付による活動の実績が報告され、また活動団体と組合員との交流ができることとします。

＜国内団体＞社会福祉法人中央共同募金会と共に支援(寄付)団体の募集、選考を行います。

＜海外団体＞特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)、認定特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21(ACC21)を通じて、「アジアの子ども・子育て支援」を行っている団体への支援(寄付)を行います。

生活協同組合コープみらい 概要

【住所】	埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5	【総事業高】	4,462億円 ※2020年度
【理事長】	新井 ちとせ(あらい ちとせ)	【事業エリア】	千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】	362万人 ※2021年10月20日現在	【ホームページ】	https://mirai.coopnet.or.jp/